



寸法などを記録した実測図 現状の写真 尾白江庚申供養灯籠が造立されている通り(南から)

そこが知りたい！ 歴史散策シリーズ

第10回 尾白江庚申供養灯籠

知っているようで知らない薩摩川内市に点在する文化財をクローズアップ!!

庚申信仰の背景

庚申信仰は、平安時代に中国から伝わりました。当時は健康長寿を祈願する、貴族の信仰行事でしたが、江戸時代になると、一般の人々にも広がっていきました。

庚申の日の夜に眠ってしまおうと、体の中に潜む三尸の蟲が抜け出して宿主の悪事を天帝に報告し、寿命を縮めると考えられていました。そのため、その夜は青面金剛を礼拝し、花や線香、ごちそうなどを供えて、飲食や談笑をしながら一夜を明かしたとされています。

この夜の集いを「庚申講」といい、庚申講を幾度かおこなった記念に建てられたのが庚申供養塔(庚申供養灯籠)です。



尾白江庚申供養灯籠

尾白江庚申供養灯籠は、3・5mほどの高さの石灯籠であり、側面と背面に講衆の名が刻まれています。寛文13年(1673年)に、尾白江の嶋郷の庚申講により造立されました。昭和56年(1981年)に市の有形民俗文化財に指定されています。

昔、尾白江地区で大火があり、多くの民家に被害が及んだ際、ある村人が庚申堂で鎮火の祈りを捧げたことで、火の手が衰えたという言い伝えがあります。

それ以来、村人たちはこの石灯籠を「火の神様」として祀るようになったそうです。

※1 道教において人間の体の中にとされる、大きざ2寸約6cmほどの悪い虫
 ※2 道教における最高神
 ※3 庚申信仰の信仰対象。病魔を払う帝釈天の使者
 ※4 神仏を敬って拝むこと
 ※5 庚申信仰の仏堂



今回紹介した文化財位置図

庚申の日

千支を日にちに当てはめた場合、57番目の日に該当します。

千支は十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)を組み合わせて60を周期としており、庚申の日は60日に1回、1年に6回巡ってきます。

1	甲子	2	乙丑	3	丙寅	4	丁卯
5	戊辰	6	己巳	7	庚午	8	辛未
9	壬申	10	癸酉	11	甲戌	12	乙亥
13	丙子	14	丁丑	15	戊寅	16	己卯
17	庚辰	18	辛巳	19	壬午	20	癸未
21	甲申	22	乙酉	23	丙戌	24	丁亥
25	戊子	26	己丑	27	庚寅	28	辛卯
29	壬辰	30	癸巳	31	甲午	32	乙未
33	丙申	34	丁酉	35	戊戌	36	己亥
37	庚子	38	辛丑	39	壬寅	40	癸卯
41	甲辰	42	乙巳	43	丙午	44	丁未
45	戊申	46	己酉	47	庚戌	48	辛亥
49	壬子	50	癸丑	51	甲寅	52	乙卯
53	丙辰	54	丁巳	55	戊午	56	己未
57	庚申	58	辛酉	59	壬戌	60	癸亥

【問合せ】=教育委員会文化課 ☎(23)5111(内線5233)

行こうよ図書館へ

意外と役立つ図書館の超簡単利用法

- ① 図書館利用者カードを作る
 - 市内に居住する人はもちろん、市内の学校の在籍生、市内の会社などに勤める人などなたでも作れます。
 - *保険証・運転免許証など、身分を証明するものをお持ちください。
- ② 本や雑誌を探す
 - 図書館内の棚を見て探す
 - 原則として分類ごとに配架してあります。また、特別図書コーナーもあります。館内案内パンフレットをご覧ください。
 - *図書館の蔵書検索機で探す
 - キーワードで簡単に探せます。
 - *インターネット(図書館ホームページ)で探す
- ③ 本を借りる
 - 一人10冊まで、2週間借りることができます。もちろん無料です。
 - *貸出中の本に限りインターネットなどで予約できます。
- ④ 本を返す
 - 本市の図書館であれば、どこでも返せます。
 - *本市の図書に限り返します。
 - 中央図書館入口横「夜間返却口」には開館時間外でも返せます。
- ⑤ 図書館の開館時間・休館日
 - 中央図書館
 - 開館時間 8時45分～21時
 - 休館日 毎月第4木曜日(17時以降は開館)および6月の特別図書整理期間
 - 各分館
 - 開館時間 9時～17時15分
 - 休館日 毎月第3日曜日、祝日および年末年始



あなたは近くにある素敵な図書館

今月は中央図書館を紹介します。

【本市で一番大きい図書館です。】

蔵書数約12万冊の、本市の中心となる図書館で土・日・祝日や夜間(21時まで)も開館し

お知らせ

わくわく図書館「春」開催!

4月23日(火)～5月12日(日)は「こどもの読書週間」です。これに伴い、恒例のわくわく図書館「春」を開催します。ぜひ、ご参加ください。

【時】 4月27日(土) 13時30分から

【所】 中央図書館

【内容】 読み聞かせ、工作 他

平成25年度「おはなしひろば」のご案内

図書館名	曜日	時間	備考
中央図書館	毎月第1火曜日	10:00～10:30	6月は第3火曜日のみ実施
	毎月第3火曜日	16:00～16:30	
	毎月第4金曜日	10:30～11:00	7月は第2金曜日実施 8月は除く
樋脇分館	毎月第3土曜日	10:00～10:30	4・8・1月は除く
東郷分館	毎月第3水曜日	16:00～16:30	
祁答院分館	毎月第2・4水曜日	16:00～16:30	
里分館	毎月第2火曜日	16:00～16:30	

*開催日が祝日の場合、前日に実施

幼児・小学生とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせなどを行っています。ぜひ、お越しください。

中央図書館から

絵本

こんとあき
林 明子 作 (福音館書店)

あきが生まれた時からずっと一緒にぬいぐるみのこん。あきが大きくなるにつれ、こんはだんだん古くなりついに腕がほころびてしまい…。

児童書

夜明けの巨大地震
メアリー・ポープ・オズボーン 著 倉野 雅子 訳 (メディアファクトリー)

魔法使いモーガンの敵しいテストに合格し、マスター・ライブラリアンとなったジャックとアニーの仲良し兄弟は、新たな冒険の旅に出ることに…。

一般書

デフレの正体
藻谷 浩介 著 (角川書店)

国際競争とは無関係に進む内需の不振、現役世代の減少と高齢者の激増…。日本経済に感じている不安の正体を、簡単な理屈で分りやすく解説する。

花まんま

朱川 湊人 著 (文藝春秋)

小さな妹がある日突然、誰かの生まれ変わりだと言いつつ、大阪の路地裏を舞台に、失われてしまった懐かしさを描く作品集

今月のおすすめ本